様式第１号

令和３年度　学校経営計画書

学校番号	107	学 校 名	静岡県立御殿場特別支援学校	校 長 名	鈴木　晴久

１　目指す学校像

(1) 教育目標

「学びあい　ともに輝き　未来を創る」

個々の特性や発達段階に応じて、それぞれの可能性を最大限に広げるとともに、社会参加や自立に必要な知識・技能・態度の育成を図り、一人一人の自己実現を支援する。

(2) 目標具現化の柱

ア　児童生徒が主体的に学びあい、生きる力を育む授業づくりを実践する。(**学び**を保障する力)

イ　安全・安心な学校を築き、児童生徒の豊かな心と健康な体を育む。

(命を守る、人を大切にする**健康**力・**安全**力)

ウ　センター的機能を活用し、家庭・地域と共に歩む学校づくりを進める。

(これまでも、これからもつながる**連携**力)

エ　「チーム御特」で職務改善に取り組み、専門性向上に努める

(３つの柱を推進するための業務改善を進める**チーム御特**力)

２　本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	**小中高 12 年間のつながりを見える化**	・個別の教育支援計画や個別の指導計画、キャリアパスポートの作成目的や作成・活用方法を再確認し、全校で共有する。(主事会、進路) ・引継ぎファイル（フォルダ）に残す資料を統一する。	◎将来を見据え、「つなぐ」「つなげる」ように個別の指導計画を作成し、指導できている。 ・個別の指導計画に掲げた目標について、個々の育ちや学びの履歴を踏まえ前後をつなげた視点で語ることができる。 ・前学年、学部の指導を把握したり、将来の姿をイメージしたりしながら、個に合った目標を立てて指導に取り組むことができる。	主事会 教務課 進路指導課 （運営委員会） 学部学年
	主体的・対話的で深い学びのある授業づくり（３年間のまとめ）	・一人１授業研 ・助言者招聘研修（５グループ年２回） ・はごろも『夢』講演会 ・公開授業研究会（全校一斉公開） ・教材(各教科＋情報機器の活用事例)展示（各学年１事例 A4 １枚程度の用紙に記載し提出） ・OJT による ICT 機器の活用研修	・助言者や参観者からのアドバイスをもとに、授業改善に努めている。 ・児童生徒の分かり方や学び方に沿った教材研究に取り組み、授業で活用している。 ・ICT 機器を活用した授業づくり、児童生徒の有効活用を推進している。	研修課 情報教育課 学部学年
	専門性の向上（実態把握、支援方法）	・外部講師による個別指導学習会（PT、ST、摂食、事例検討会） ・発達検査に関する学習会（Vineland-Ⅱ） ・掲示板を活用した、自立活動教材の紹介 ・研修会の案内、自立活動図書の紹介	・学習会の内容が指導に活きている。 ・発達検査の活用方法についてのアドバイスを活かしている。 ・自立活動室の教材が、校内で活用されている。	自立活動課 学部学年

様式第１号

イ	新しい生活様式も踏まえた環境設定	・コロナ感染予防方法の呼びかけや掲示板等での周知 （３密回避、手洗い、手指消毒、換気、加湿器、パーテーションの活用､教室の調整等） ・コロナ感染予防について授業でも取り上げるよう推進する	・安心して授業に参加したり、話し合いを行ったりする環境を設定できている。 ・感染予防対策（３密回避、手洗い、手指消毒、換気等）を習慣化、徹底している。 ・給食を安全に食べることができている。	保健体育課 学部学年 事務室
	命を守る安全教育	・避難訓練（火災２回、地震１回、富士山噴火１回） ・まなぼうさいの実践 ・まなぼうはんの実践 ・交通安全教室（学部１回） ・校舎内外の安全点検（２ヶ月に１回） ・緊急時対応訓練 ・情報モラル教育の授業実践(高等部２回)	・避難方法や自分の役割に沿って、緊急時には動ける準備ができ(た)ている。 ・児童生徒が自分の命を守るための適切な判断、行動（ハンカチで口を覆ったり、机の下に入ったり等）をとれるよう支援できた。 ・児童生徒が身近な危険から自分の身を守る行動意識が高まるよう支援できた ・定期的な安全点検により、日頃から安全環境を意識して指導している。 ・発作等の緊急時における対応方法に沿って、動ける準備ができ(た)ている。 ・生徒はスマホ等の使い方のマナーを身につけ、安全に生活できている。	安全課 学部学年 事務室 生徒指導課 体育保険課 高等部
	人を大切にする心と体の教育	・道徳授業実践 ・人権教育研修会 ・人権標語の提案、周知（毎月）	・道徳授業の実践資料（一覧）を作成できた。 ・児童生徒の手本となる人権教育を自ら推進している。	学部学年 主事会 道徳科 生徒指導課
		・コロナ感染予防を工夫した体育実践（運動会、水泳等） ・性教育学習会 ・生活年齢・発達段階に応じた保健指導（性教育を含む）の実践 ・栄養教諭と連携した授業実践（各学年１回）	・安全、安心の中で、健康な体つくりができている。 ・生活年齢・発達段階に応じた保健指導（性教育を含む）を実践できている。 ・児童生徒は、食育に興味や意識を高めて授業に参加できている。	保健体育課 学部学年 給食委員会
		・地域人材を活用した読み聞かせ(５回) ・校外作品応募、校内展示充実	・児童生徒が色々な本に触れ、興味を持って見たり、自分から本を読んだりする機会になっている。 ・児童生徒が自分の作品を作ることを楽しみにする機会になっている。 ・児童生徒が自分の作品や他者の作品を見たりすることを楽しむ機会になっている	学習指導課 学部学年
ウ	社会に開かれた学校づくり	・地域イベントへの参加 ・地域資源を活用した連携を深める ・学校評議員会（CS 委員会）を活用し、新たな地域資源の拡大を図っていく	・イベント参加により児童生徒が達成感をもつことができたと感じることができる。 ・新しい地域資源を拡げ、関わる学習に取り組むことができる。	CS 委員会 企画会 （副校長） 連携課 進路指導課
	共生教育の充実	・交流教育の実施 （小　間接交流１回、 中２回、高１回） ・交流籍の推進（小中学部） ・各学年、年３回以上の記事の作成、掲載を行う	・交流校と目的を共有して、お互いの児童生徒にとって充実した交流になってきている。 ・交流籍を希望した児童生徒の交流が実現できた。 ・学校 HP での、発信内容が充実したものになっている。	学部学年 連携課 学部学年 連携課 情報教育課 教務課

様式第１号

	地域への役割の充実	・近隣市町での特別支援教育研修会と協働したエリアサポートの充実 ・校内サポート（コーディネーター） ・学校 HP に、コーディネーター便りのコーナーを設置、掲載 ・学校紹介ビデオ作成委員会の設置	・中学校、高等学校からの依頼に応じ必要なサポートができている。 ・児童生徒と福祉や SC とを結ぶ等、校内での支援は充実している。 ・HP を活用して、センター的機能の情報発信ができている ・学校紹介ビデオを作成し、職員全員が地域へ紹介できる準備ができた。	連携課 進路指導課 連携課 情報教育課 学校紹介ビデオ作製員会
エ	**教職員が児童生徒、自分の生活や家族を守るコンプライアンス意識の向上**	・「チーム御特」の全員参加による業務改善（改善案の検証） ・県の指針を受けた不祥事根研修（３回）	・授業準備の時間や児童生徒のことを語り合う時間が昨年度より増えている。 ・お互いに「あいさつ」「報連相」ができる職場の雰囲気が構築されている。 ・飲酒運転０　個人情報漏洩０ 体罰０　スクールセクハラ０	企画会 コンプライアンス委員会 教務課 運営委員会
	「学び続ける教職員」の育成	・キャリア研修等を活かした OJT により、学び合う環境を作る ・ミニ学習会（学部）	・OJT やミニ学習会を専門性の向上に役立てている。	主事会 学部